

## 危険物取扱者 [乙種・性消(第1類危険物)・正誤(7)]

---

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第1類の危険物が可燃物と接触すると発火や爆発のおそれがある。【 】
- (2) 第1類の危険物は容器を密栓せずに保存する。【 】
- (3) アルカリ金属の過酸化物の消火には強化液消火剤が適している。【 】
- (4) 塩素酸カリウムは吸湿性や潮解性がある。【 】
- (5) 過塩素酸カリウムは漂白剤としてよく使用されている。【 】
- (6) 過酸化マグネシウムは水と反応して酸素を発生する。【 】
- (7) 臭素酸ナトリウムは火災時に刺激性もしくは有毒なヒュームを放出する。【 】
- (8) 硝酸アンモニウムは水によく溶け、溶けるとき熱を発生する。【 】
- (9) ヨウ素酸ナトリウムはエタノールによく溶ける。【 】
- (10) 過マンガン酸カリウムは水に溶けて濃紫色を呈する。【 】
- (11) 重クロム酸アンモニウムは橙黄色の針状結晶である。【 】
- (12) 三酸化クロムはアセトンと混合すると、発火することがある。【 】
- (13) 二酸化鉛は光によって分解される。【 】
- (14) 次亜塩素酸カルシウムは毒性が強い。【 】
- (15) 炭酸ナトリウム過酸化水素付加物は可燃性である。【 】

## 危険物取扱者 [乙種・性消(第1類危険物)・正誤(7)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第1類の危険物が可燃物と接触すると発火や爆発のおそれがある。 【○】  
第1類の危険物は酸化性固体である。
- (2) 第1類の危険物は容器を密栓せずに保存する。 【×】  
容器は密栓する。
- (3) アルカリ金属の過酸化物の消火には強化液消火剤が適している。 【×】  
アルカリ金属の過酸化物。水系の消火剤は適していない。
- (4) 塩素酸カリウムは吸湿性や潮解性がある。 【×】  
吸湿性や潮解性はない。
- (5) 過塩素酸カリウムは漂白剤としてよく使用されている。 【×】  
漂白剤に使用されるのは塩素酸カリウムである。
- (6) 過酸化マグネシウムは水と反応して酸素を発生する。 【○】  
水と反応して酸素を発生する。
- (7) 臭素酸ナトリウムは火災時に刺激性もしくは有毒なヒュームを放出する。 【○】  
火災時に刺激性もしくは有毒なヒュームを放出する。
- (8) 硝酸アンモニウムは水によく溶け、溶けるとき熱を発生する。 【×】  
水によく溶け、溶けるとき熱を吸収する。吸熱反応。
- (9) ヨウ素酸ナトリウムはエタノールによく溶ける。 【×】  
エタノールには溶けない。
- (10) 過マンガン酸カリウムは水に溶けて濃紫色を呈する。 【○】  
水に溶けて濃紫色を呈する。
- (11) 重クロム酸アンモニウムは橙黄色の針状結晶である。 【○】  
橙黄色の針状結晶である。
- (12) 三酸化クロムはアセトンと混合すると、発火することがある。 【○】  
アセトンと接触すると発火することがある。
- (13) 二酸化鉛は光によって分解される。 【○】  
光によって分解され、酸素を発生する。
- (14) 次亜塩素酸カルシウムは毒性が強い。 【○】  
毒性が強い。
- (15) 炭酸ナトリウム過酸化水素付加物は可燃性である。 【×】  
不燃性である。